

金属熱処理業界における 自主行動計画フォローアップ調査について

令和6年3月8日

一般社団法人 日本金属熱処理工業会

1. 令和5年度フォローアップ調査結果（概要）

- ・調査期間：令和5年10月25日～11月17日
- ・調査企業：一般社団法人 日本金属熱処理工業会 187社を対象
- ・回答企業：71社（前年度98社）
- ・回答率：38.0%（前年度52.4%）

【概観】（改善できた点、改善の余地がある点等特筆すべき内容を記載）

- 👉 「価格決定方法」の受注側の「一部反映された」以上が77.5%に達するものの、前回調査から大きな改善は認められなかった。特に、労務費の「あまり反映されなかった」「反映されなかった」の合計が60.6%であるのは、他の調査項目に対しても高い状況なので、反映される環境づくりが課題。ただし、一部の企業では、取引先（販売先）から労務費の価格転嫁を打診された事例もあり、徐々にではあるが労務費に関しても価格への転嫁が改善される環境が整いつつある。
- 👉 「原価低減要請」については改善しているものの、依然として一部（9.9%）において、「受けたことがある」と回答しており、適正取引に反するものであり課題。
- 👉 下請代金の手形等の支払いについては、手形の利用、サイトの短縮ともに改善が進んでいない。発注側でサイトを「60日以内に変更する予定がない」が41.7%、また「2026年までに手形の利用を廃止の予定がない」が8.3%であるのは課題であり、何らかの対策が必要。
- 👉 「知的財産」「働き方改革」については、大きく改善している。ただし、働き方改革の影響については、金属熱処理のサプライチェーンにおける位置づけを考慮すると0%にするのは難しく、その影響への対価の支払い等を契約で結ぶことが課題。

2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

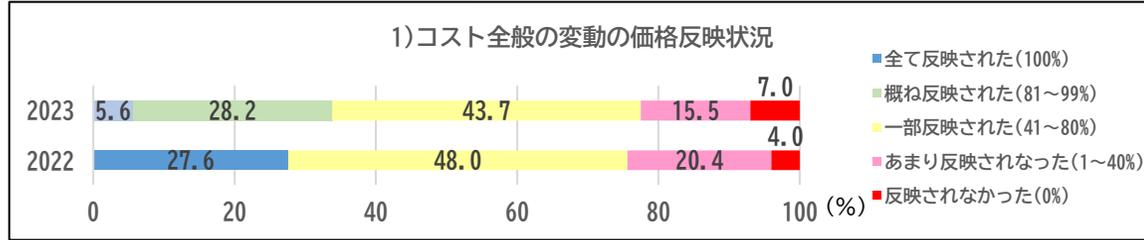
重点課題に対する取組①合理的な価格決定 (1 / 2)

【受注側】

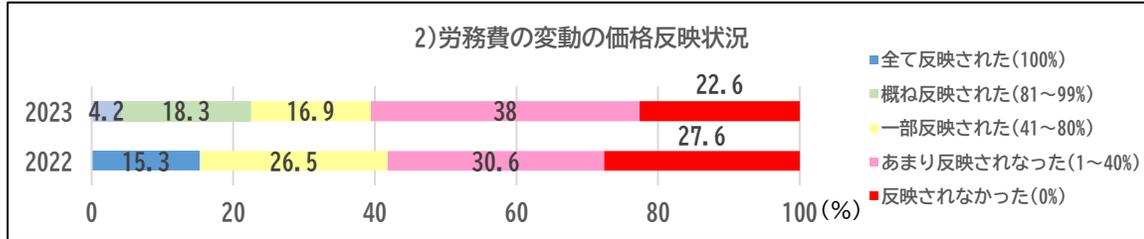
【設問と回答】

2023年度に適用する単価の決定・改定にあたり、各変動コストの反映状況をお答えください。

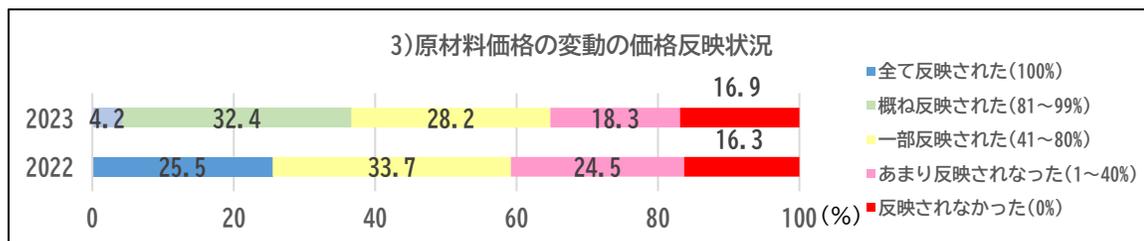
1) コスト全般の変動の価格反映状況



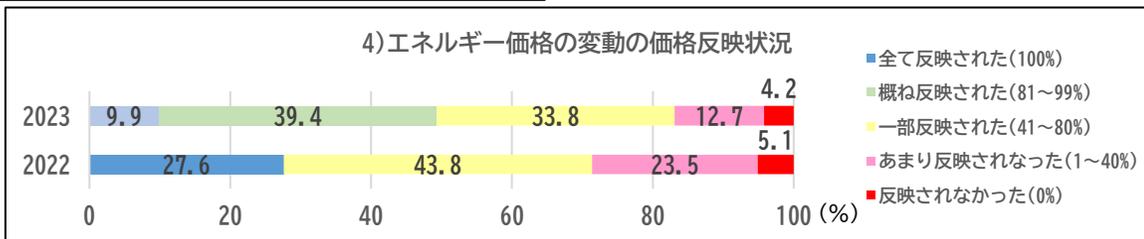
2) 労務費の変動の価格反映状況



3) 原材料価格の変動の価格反映状況



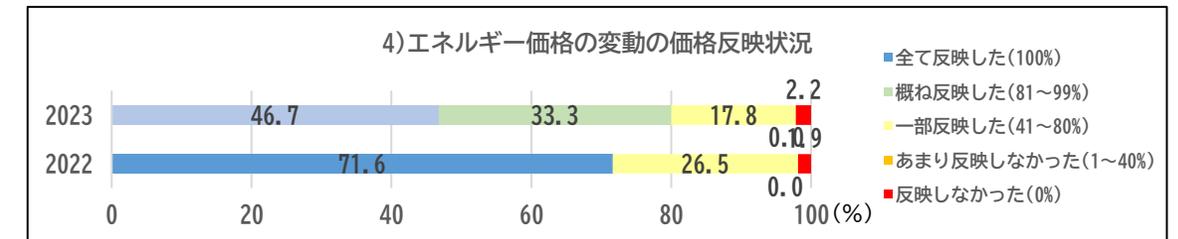
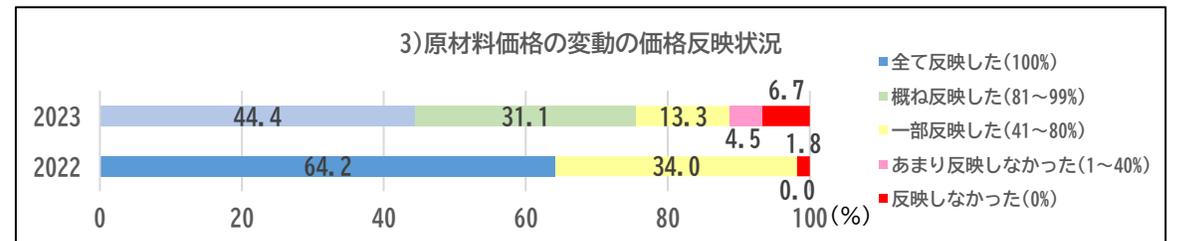
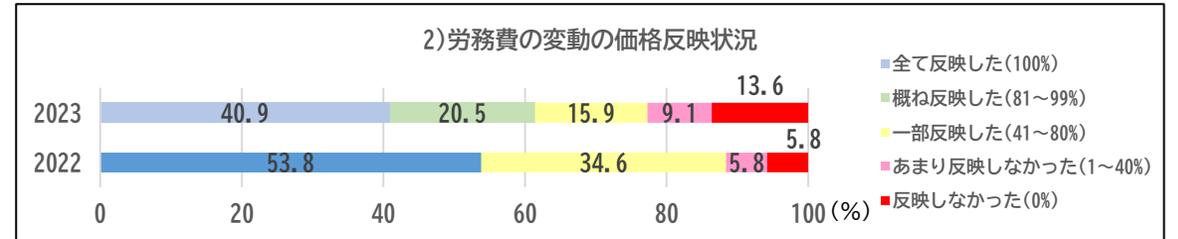
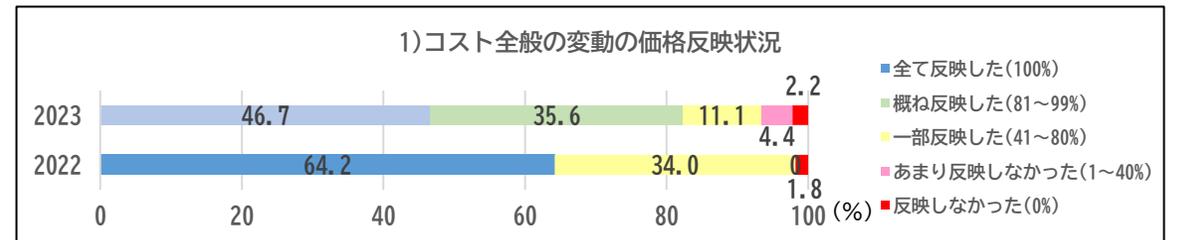
4) エネルギー価格の変動の価格反映状況



【発注側】

【設問と回答】

2023年度に適用する単価の決定・改定にあたり、仕入先（発注先）の各コスト増加分をどの程度反映できましたか。



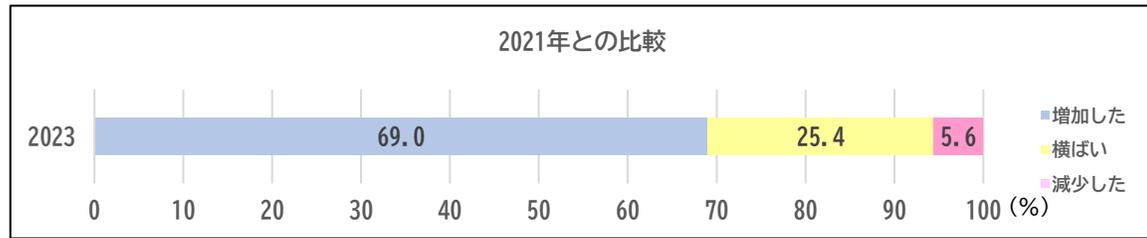
2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組①合理的な価格決定 (2 / 2)

【受注側】

【設問と回答】

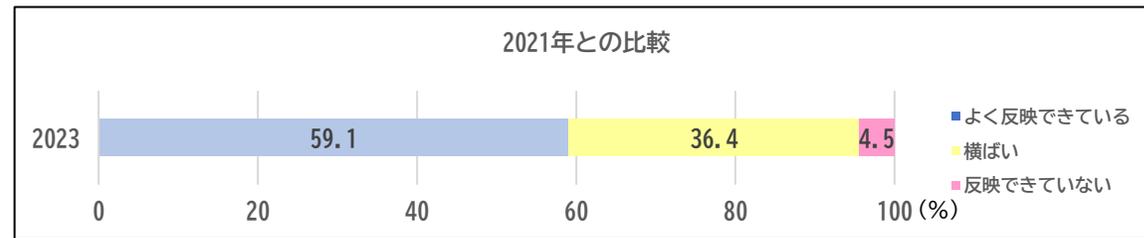
2021年以前（価格交渉推進月間）と比較して、直近1年間では、販売先との価格改定に関する協議の頻度はどのように変化しましたか。



【発注側】

【設問と回答】

2021年以前（価格交渉推進月間）と比較して、直近1年間では、各変動コストの反映状況はどのように変化しましたか。



【分析結果・今後の課題】

- ・ 前回調査時の選択肢「概ね反映された(81~100%)」が、今回調査では「全て反映された(100%)」と「概ね反映された(81~99%)」に分けられたが、総数として各調査項目とも改善傾向にある。
- ・ 調査項目中、労務費の価格反映状況も改善傾向ではあるが、「概ね反映された」以上は22.5%に留まっており、エネルギー費の価格反映状況の49.3%に比べると依然として改善は途上である。
- ・ 2021年との比較では、受注側及び発注側ともに「増加した」「よく反映できている」が60%以上であり、特に発注側と受注側の回答に乖離がみられる中で、受注側の「増加した」「横ばい」の合計が94.4%と高いのは、様々な価格高騰を背景に、価格交渉月間をはじめ、価格交渉できる環境が整ってきた効果と考えられる。

【課題を踏まえた今後のアクション】

- ・ 価格交渉に関するセミナー等、価格交渉担当者間の情報交換と価格交渉ノウハウに関する勉強会を地区ごとに開催し、担当者が価格交渉に関わる制度等を理解し、自信をもって価格交渉ができる教育を継続的に行う。
- ・ 上記、情報交換の場では、価格交渉に関する事例紹介などを含めて発表する場を設定し、情報の共有化を図る。
- ・ 価格交渉促進月間等、関連する取組を広く会員企業に周知するときに、経営者はもちろん、価格交渉担当者に最新の情報を周知できるよう、業界内メールマガジンを積極的に活用する。

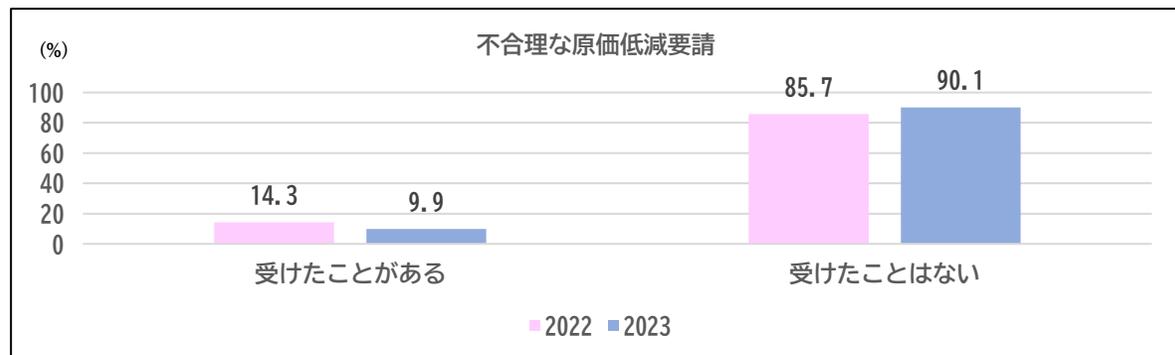
2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組②原価低減要請、協賛等

【受注側】

【設問と回答】

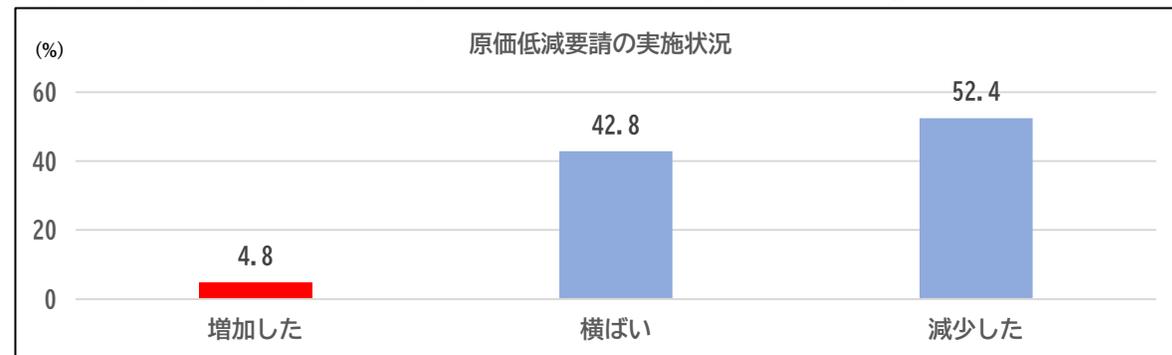
直近1年間で、販売先から不合理な原価低減要請を受けたことがありますか



【発注側】

【設問と回答】

2016年以降（未来志向型の取引慣行に向けて策定以前）と比較して、直近1年間で、不合理な原価低減要請の実施状況はどのように変化しましたか。



【分析結果・今後の課題】

- ・受注側で「受けたことがある」が昨年度14.3%であったのに対して、今回調査では9.9%まで改善したのは、不合理な原価低減要請がサプライチェーンにおける存在悪であることの認識が高まり、発注側担当者の意識改革が進んできたためと思われるが、依然として10%弱の発注業者が不合理な原価低減要請を行っている実態は、早急に排除する必要がある。
- ・一部で「国がエネルギー費の補填を行っている間、原価低減や他の価格交渉に回してほしい」等の要請を受けたとの情報がある。国の施策、方針を逆手に取った要請であり、受注側の利益を搾取していると言っても過言ではない事例である。その他のも依然として、価格交渉を認める代わりに原価低減要請を受けた事例もあり、発注側としては担当者の教育を更に徹底する必要がある。
- ・発注側の原価低減要請が「増加した」の回答が4.8%あるのは、不合理な要請であることを認識した上での実施しているものであり、回答した企業には指導と教育の徹底を要請する。

【課題を踏まえた今後のアクション】

- ・不合理な原価低減要請が起きる要因の一つに、発注側担当者の業務成績に関わることに起因していることが多く、経営者等が認知していないところで起きていることが多い。発注者となる企業の経営者等には、担当者に対する教育はもちろん、取引価格にも注視し、適正価格で取引が行われていることに責任を持つよう、徹底する。

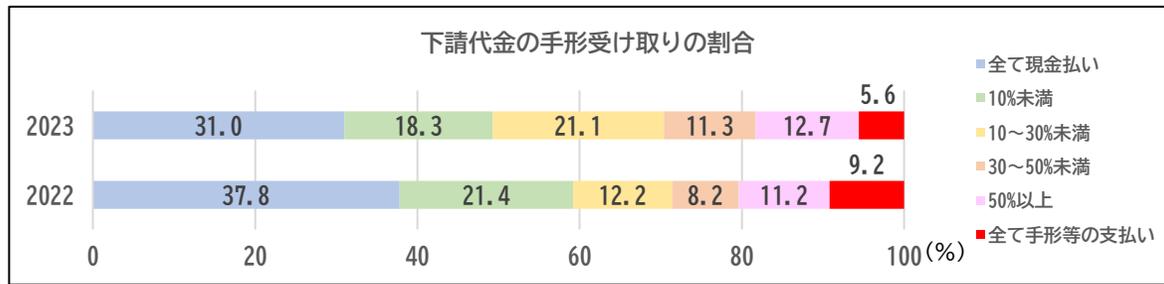
2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組③支払条件 (1 / 2)

【受注側】

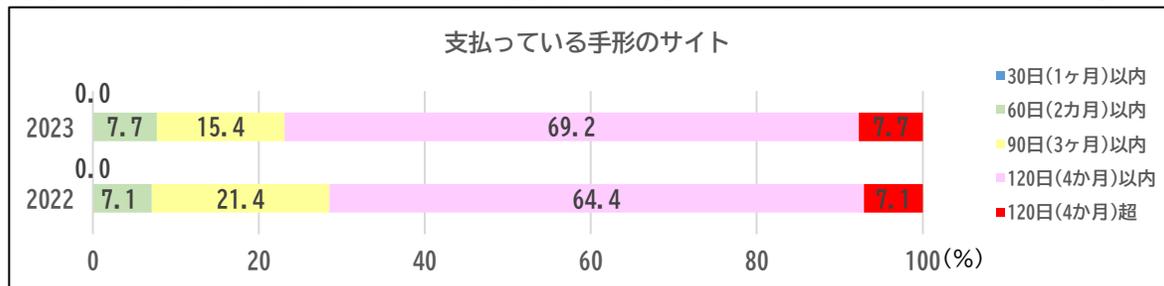
【設問と回答】

下請代金を手形等で受け取っている場合、その割合はどれくらいですか。



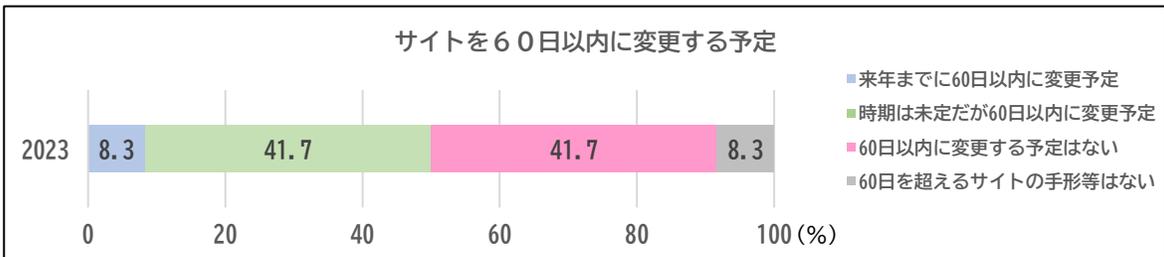
【設問と回答】

下請代金を手形等で受け取っている場合、手形等のサイトはどれくらいですか。



【設問と回答】

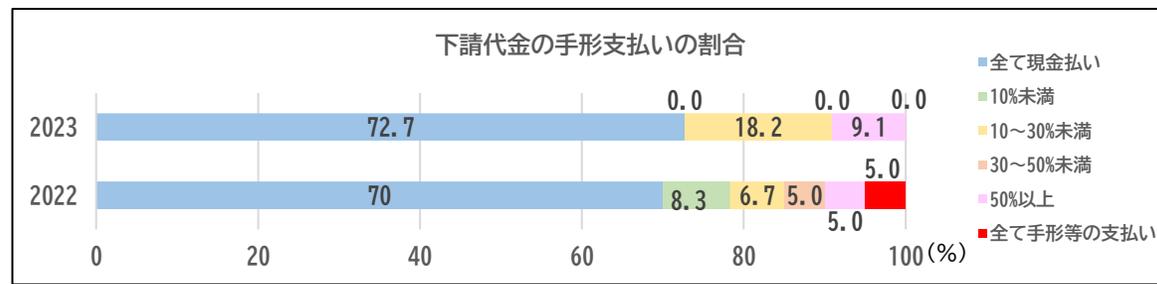
【発注側】 現在、60日を超えるサイトの手形等を利用している場合、サイトを60日以内に変更する予定はありますか。



【発注側】

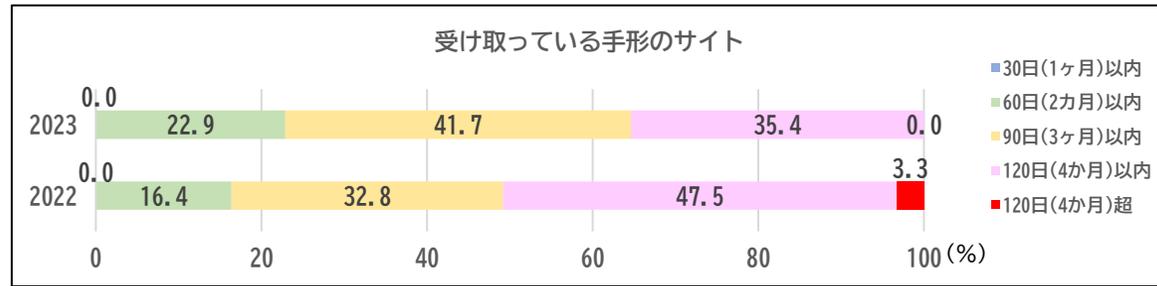
【設問と回答】

下請代金を手形等で支払っている場合、その割合をお答えください。

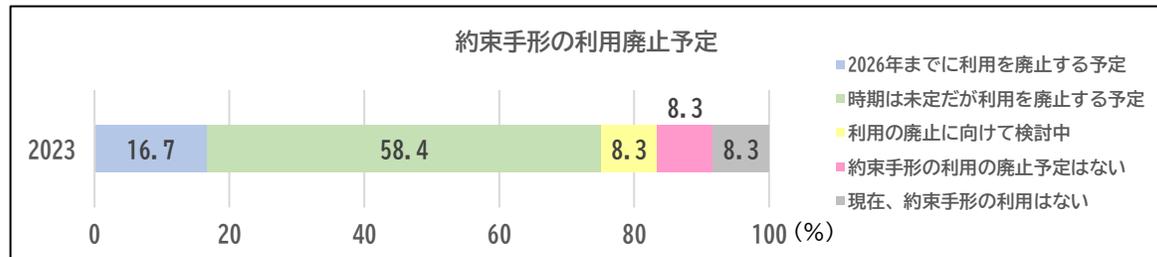


【設問と回答】

下請代金を手形等で支払っている場合、手形等のサイトはどれくらいですか。



【発注側】 現在、下請代金の支払いに約束手形を利用している場合、約束手形の利用廃止を予定していますか。



2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組③支払条件（2 / 2）

【分析結果・今後の課題】

- ・ 下請代金の手形取引に関しては、発注側は0%となり、受注側でも改善傾向にある。また「全て現金払い」している企業は受注側では減少、発注側では増加している結果となり、発注側と受注側で乖離がみられる。
- ・ 受注側の支払いのサイトは依然として「120日（4か月）超」が一定数存在しているが、発注側は今回調査では0%であった。ただし、サイトが120日以内の手形を利用している企業数は発注側、受注側ともに改善の傾向は見られない。
- ・ 約束手形の利用を2026年度までに廃止すると回答した企業は、前回調査では約6割であったのに対して、今回調査では約8割となったが、8.3%の企業が「廃止の予定はない」と回答している。
- ・ 手形のサイトを60日以内に変更する予定で、41.7%の企業が「変更する予定はない」と回答している。

【課題を踏まえた今後のアクション】

- ・ 下請代金の手形取引、利用する手形のサイトともに改善傾向にあるものの、依然として手形を利用している企業は多く、またサイトの短縮化（60日以内）に関して、変更する予定がない企業が多いため、引き続き、サイトの短縮化について会員企業への周知を図る。
- ・ 2026年に約束手形利用廃止を前提とした現金払いへの以降が円滑に行えるように、利用廃止の予定がない会員企業に対して、情報の配布と社内における検討を進めるよう周知を図る。

【要望】

- ・ 手形サイトの短縮化及び2026年手形利用廃止に向けて、業界団体として採り得る手段を行使して周知徹底を図っているが、他の調査項目に比し、支払条件に関しては調査結果のとおり改善が進んでいない。価格交渉に関しても、国がその環境整備に関して強い情報を発信したことで、徐々にサプライチェーンの川下側企業が対応してくれる環境が醸成されたことを踏まえ、何らかの強い情報発信を要望する。
- ・ 特に受注側として、手形による支払いが70%の現状と、国内企業の倒産件数増加（前年比33%増^{※1}）の傾向を考慮すると、回収困難となるケースの増加を危惧している企業も多い。国として支払条件改善について強い指導を要望する。

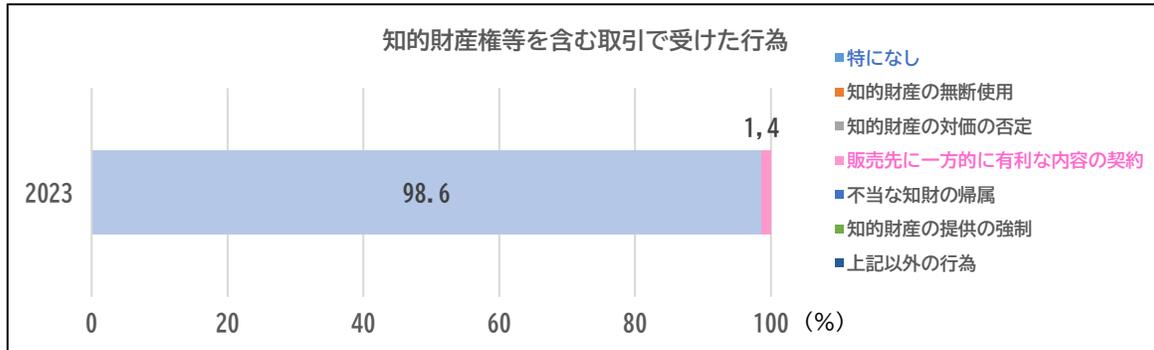
2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組④知的財産等への対応

【受注側】

【設問と回答】

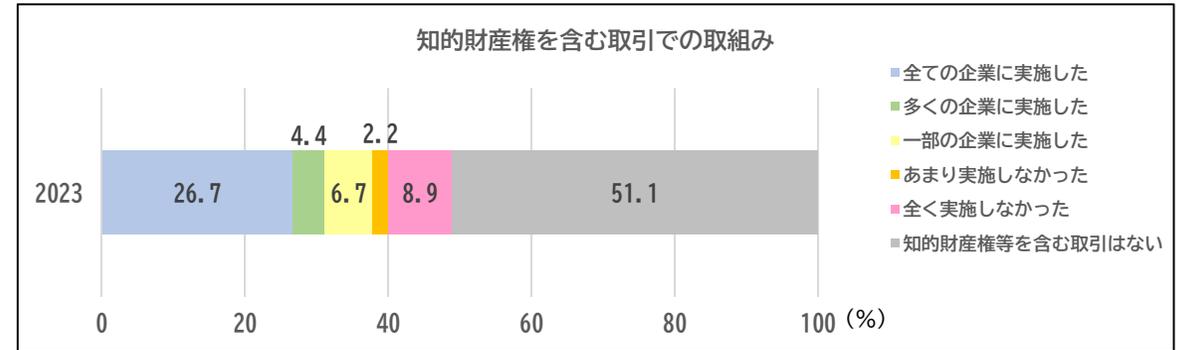
直近1年間で、知的財産権等を含む取引において、販売先から受けたことのある行為についてあてはまるものを選んでください。



【発注側】

【設問と回答】

直近1年間で、知的財産権等を含む取引において、適正な取引を実施するための取組の実施状況をお答えください。



【分析結果・今後の課題】

- ・受注側で、知的財産に関する販売先から受けた行為は、ほとんどの会員企業が「特になし」と回答しており、問題となる事例は少ない。
- ・ただし、一部の企業で問題となる行為を受けている現状に関しては改善する必要がある。
- ・発注側では、「知的財産権を含む取引はない」と回答した会員企業が51.1%であるのは、熱処理企業が発注側になるケースは、熱処理の技術を伴う取引が少ないことに起因していると考えられる。

【課題を踏まえた今後のアクション】

- ・調査結果から、至急、改善のための措置をとらなければならない内容ではないものの、一部で対応が必要な内容があるので、知的財産を含む適正取引について、再度、周知徹底を図る。

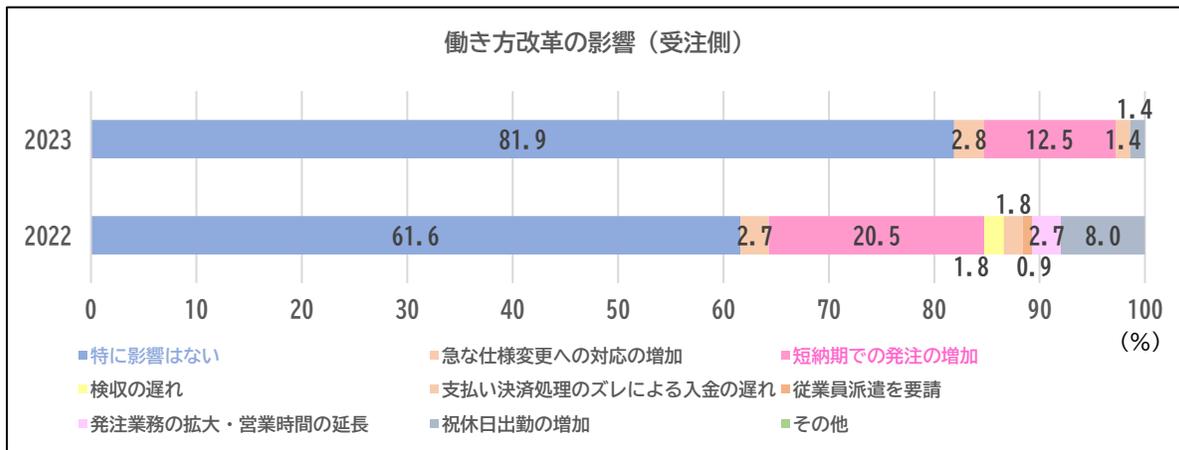
2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組⑤働き方改革

【受注側】

【設問と回答】

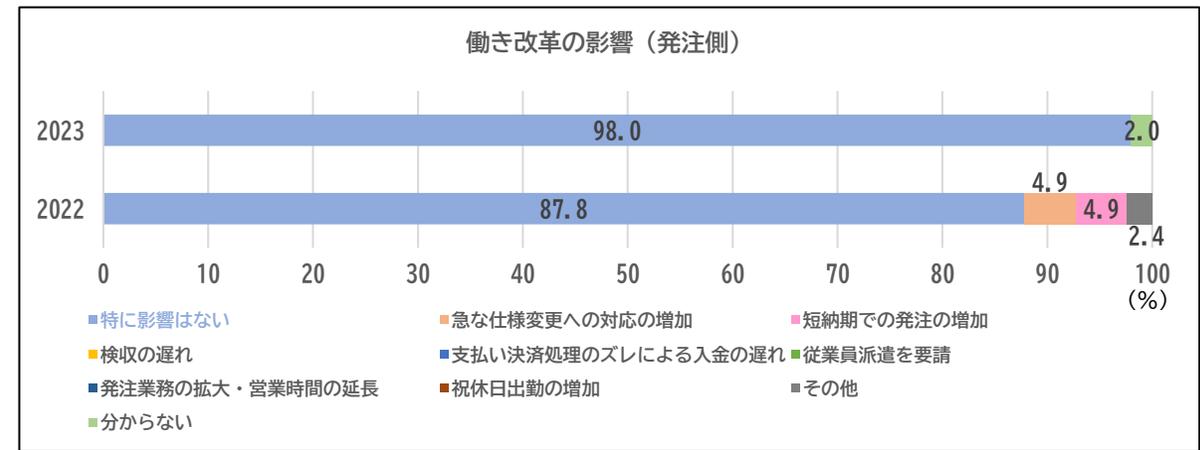
直近1年間で、販売元が実施した働き方改革に関する対応の結果、受けた影響についてあてはまるものを選んでください。



【発注側】

【設問と回答】

貴社が行った働き方改革に関する対応の結果、仕入先（発注元）に対し、どのような影響がありましたか。



【分析結果・今後の課題】

- ・受注側、発注側ともに「特に影響がない」の割合が増加しており、大きく改善している結果となった。
- ・受注側の「短納期での発注の増加」も改善傾向にはある。熱処理のサプライチェーンにおける位置付けを考慮すれば、影響を0%にするのは難しいと考えるが、12.5%の会員企業が働き方改革の影響として挙げているので、必要の有無を考慮して更なる改善が必要と考える。

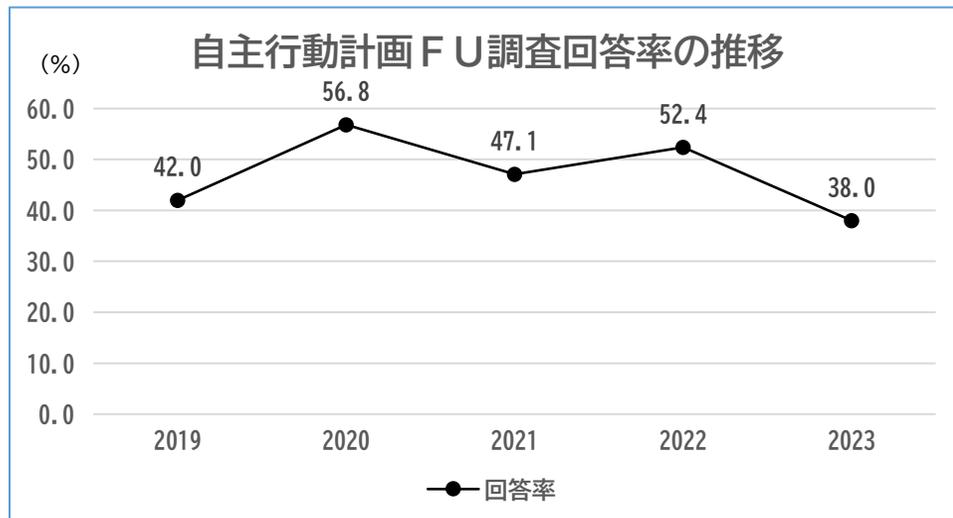
【課題を踏まえた今後のアクション】

- ・全般に改善傾向にはあるが、働き方改革を推進することが企業価値を高め、人出不足の解消に繋がり、ひいては業界の地位向上に及ぶことを周知し、不必要な影響の排除を徹底する。
- ・仮に必要な取引と判断した場合には、それに見合う対価の請求を行うことができる契約を結ぶことを徹底する。

3. 取引適正化に向けた今後の取組

【今後の取組】

- ・ 本調査結果及び本委員会における指摘、他の業界の状況等、必要な情報を会員企業で共有するため、理事会等において周知徹底を図る。
- ・ 今回の調査結果を踏まえ、特に支払条件（手形を利用した取引）の改善に関して、理事会等において周知徹底を図る。
- ・ 価格交渉については、引続き関連するセミナーを開催し、現場担当者の情報共有とノウハウの勉強会を通じて、会員企業の取引が適正に行われるよう推進する。
（令和6年度中に3回実施予定）
- ・ 今回の調査において、最も問題視しているのは、回答率の低下である。前回までは概ね50%程度で推移していたが、今回調査では38%に低下した。明確な原因は分からないが既に、理事会等で会員企業に本調査の必要性及び結果を基にした制度改革、取引環境の整備等、回り回って自社の利益に関わる重要な調査であることを周知した。



次回以降、回答率の向上に努める。

(参考) パートナーシップ構築宣言への取組状況等

【取組状況】

- ・ 会員企業数：1 8 7社（うち、資本金3億円超の大企業 9社）
- ・ 宣言企業数： 3 7社（うち、資本金3億円超の大企業 5社）
- ・ 会員企業に占める宣言企業の割合：1 9 . 8 %
(昨年度報告時 1 3 . 9 %)

【今後の取組】

- ・ 引続き、理事会及び各種委員会で宣言することを推奨
- ・ 隸下組合の理事会等でも宣言することを推奨